指導と評価の年間計画（シラバス）

学校番号	1205
大阪府立岬高等学校　総合学科	

令和　　2 年度　　福祉　　科

教科	福祉	科	科目	コミュニケーション技術	単位数	2　単位	年次	3　年次
使用教科書（出版社）		コミュニケーション技術（実教出版）						
副教材等（出版社等）		なし						

1．担当者からのメッセージ（学習方法等）

コミュニケーションは、集団生活においてよりよい人間関係を構築する上で基本となっています。相手の思いを受容・共感し、またそれに対し心をこめて返すといういわば言葉のキャッチボールといえるでしょう。この授業ではコミュニケーションの果たす役割を理解した上で、特に福祉の観点からどのようなコミュニケーション方法があるのかを理解し、福祉の現場において例えば生活技能の低下した利用者やその家族への関わり方、また他の職種との連携を実現するためのコミュニケーションのあり方やスーパービジョンなど、さまざまなコミュニケーション技術を学習します。

2．学習の到達目標

相手の尊厳を守り、環境に応じて柔軟に対応でき、良好な関係を構築するために必要なコミュニケーション技術を知る。

3．学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：技能	d：知識・理解
観点の 趣旨	相手とコミュニケーションすることを通して対人関係に興味・関心を持ち、実際に人と関わろうとする意欲や態度を身に付けている。また、ワーカーとしてふさわしい考えや行動を身に付けようとしている。	相手や周りの環境についてそれぞれの課題を見いだし、思考を深め、適切に判断し、問題解決に向けてどうすべきなのか、どうすれば自分のメッセージがうまく相手に伝わるのかを考え、発信する能力を身に付けている。	演習の中で行ったことを、普段の生活の中でも意識して行うことができ、問題解決に向けて進めていける技術を身に付けている。	コミュニケーション技術の種類や問題解決能力、コミュニケーションに必要な知識を身に付けている。ワーカーとしてふさわしい考えや行動を理解し、身に付けている。
評価 方法	取り組み態度 提出物、課題への取り組み状況 レポート 自己評価　等	取り組み態度 提出物、課題への取り組み状況 定期考査 自己評価　等	取り組み態度 提出物、課題への取り組み状況 レポート 実技テスト 自己評価　等	取り組み態度 提出物、課題への取り組み状況 定期考査 自己評価　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

学期	内容	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
1学期	聴覚障がいにおけるコミュニケーション	第1章 コミュニケーションの意義と役割	コミュニケーションの意義と役割を理解し、人間関係の形成について考える	○	○		○	a： 知識の習得へ積極的に行動できる b： 学習内容を元に課題を見出し、思考を深め、適切に判断できる c： 実践授業において、コミュニケーションに関する技術を身につける d： コミュニケーションに関する基礎的な知識を身につける	取り組み態度 提出物、取り組み状況 レポート、自己評価 実技テスト 定期考査
		第2章 コミュニケーションの基本技術	コミュニケーションの基本技術を理解し、受容・共感などの対話を考える	○	○	○	○		
		第3章 援助の技法とコミュニケーション	個人と集団に対するコミュニケーションを理解し、それぞれの違いについて考える	○	○	○	○		
2学期	視覚障がいにおけるコミュニケーション	第1章 サービス利用者や家族との関わり	利用者や家族との関係づくりについて理解し、家族への支援を考える	○	○		○	a： 知識の習得へ積極的に行動できる b： 学習内容を元に課題を見出し、思考を深め、適切に判断できる c： 実践授業において、コミュニケーションに関する技術を状況に応じて使うことができる d： 様々な障害に対するコミュニケーション方法を身につける	取り組み態度 提出物、取り組み状況 レポート、自己評価 実技テスト 定期考査
		第2章 サービスに応じたコミュニケーション	さまざまな障害について理解し、相手とのコミュニケーション方法について考える	○	○	○	○		
3学期	チームのコミュニケーション	第1章 記録	記録の意義と目的について理解し、記録方法と管理について考える	○	○	○		a： 知識の習得へ積極的に行動できる。 b： 学習内容を元に課題を見出し、思考を深め、適切に判断できる c： 実践授業において、コミュニケーションに関する技術を様々な場面で使うことができる d： スーパービジョンの方法を身につける	取り組み態度 提出物、取り組み状況 レポート、自己評価 実技テスト 定期考査
		第2章 チームによる連携	チームにおけるコミュニケーションについて理解し、情報の共有化について考える	○	○	○			
		第3章 スーパービジョンの技法	スーパービジョンについて理解し、スーパービジョンの方法について考える	○	○	○	○		